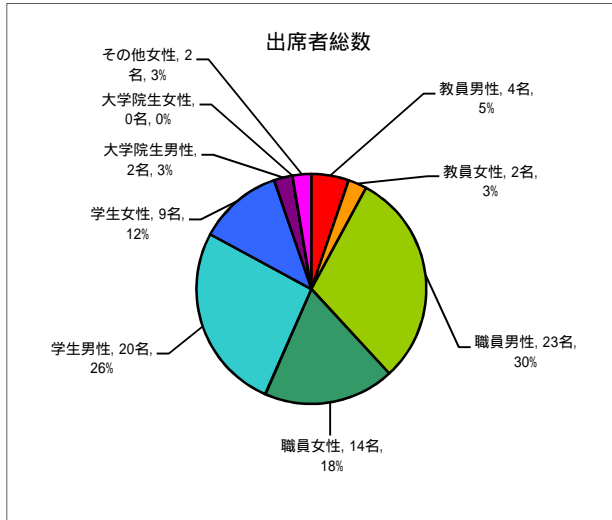


埼玉大学男女共同参画室講演会アンケート集計結果

1. 講演会出席者

区分	総数	男性	女性
教員	6名	4名	2名
職員	37名	23名	14名
学生	29名	20名	9名
大学院生	2名	2名	0名
その他	3名	1名	2名
計	77名	50名	27名

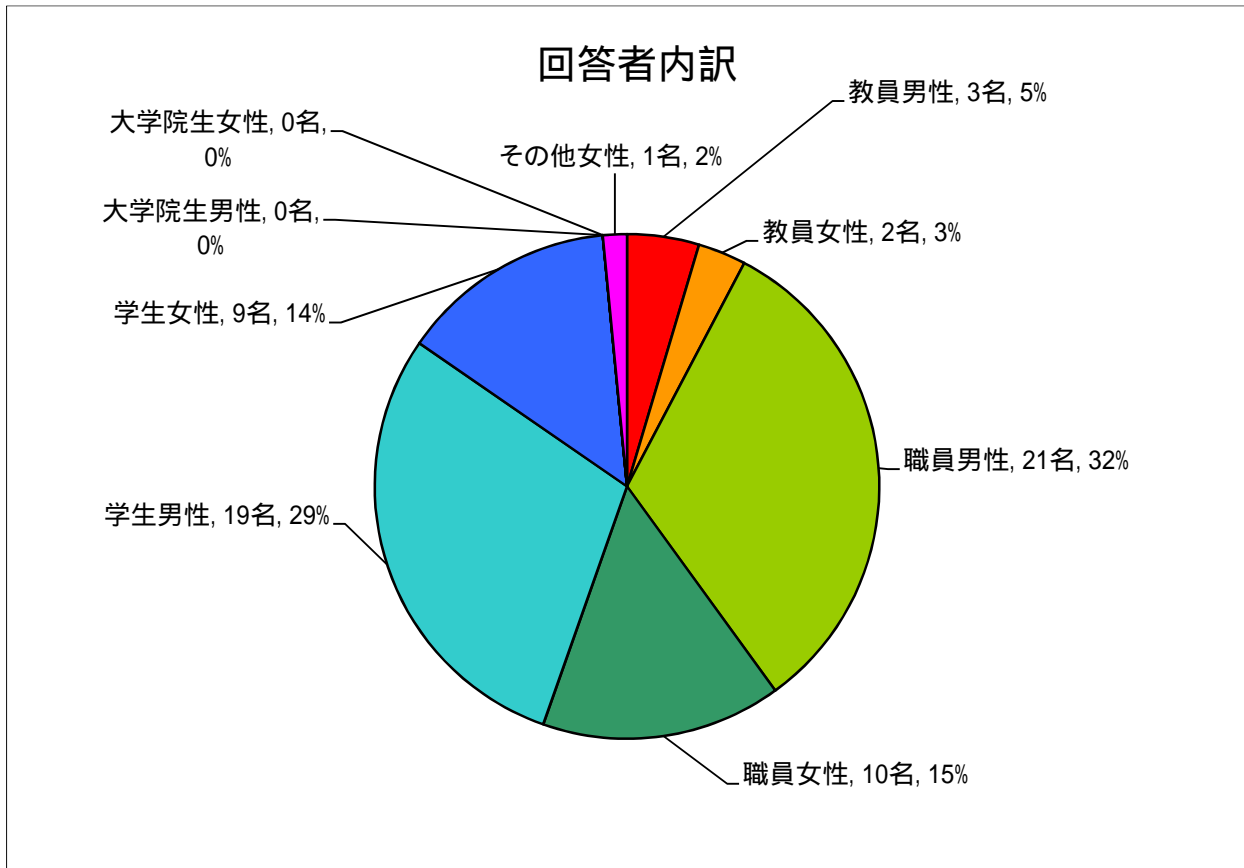


2. 回答率

区分	出席者	アンケート回答者	回答率(/)
教員	6名	5名	(83.33%)
職員	37名	31名	(83.78%)
学生	29名	28名	(96.55%)
大学院生	2名	0名	(0.00%)
その他	3名	1名	(33.33%)
計	77名	65名	(84.42%)

3. 回答者内訳

区分	男	女	計
教員	3名	2名	5名
職員	21名	10名	31名
学生	19名	9名	28名
大学院生	0名	0名	0名
その他	0名	1名	1名
計	43名	22名	65名



4. 回答者所属

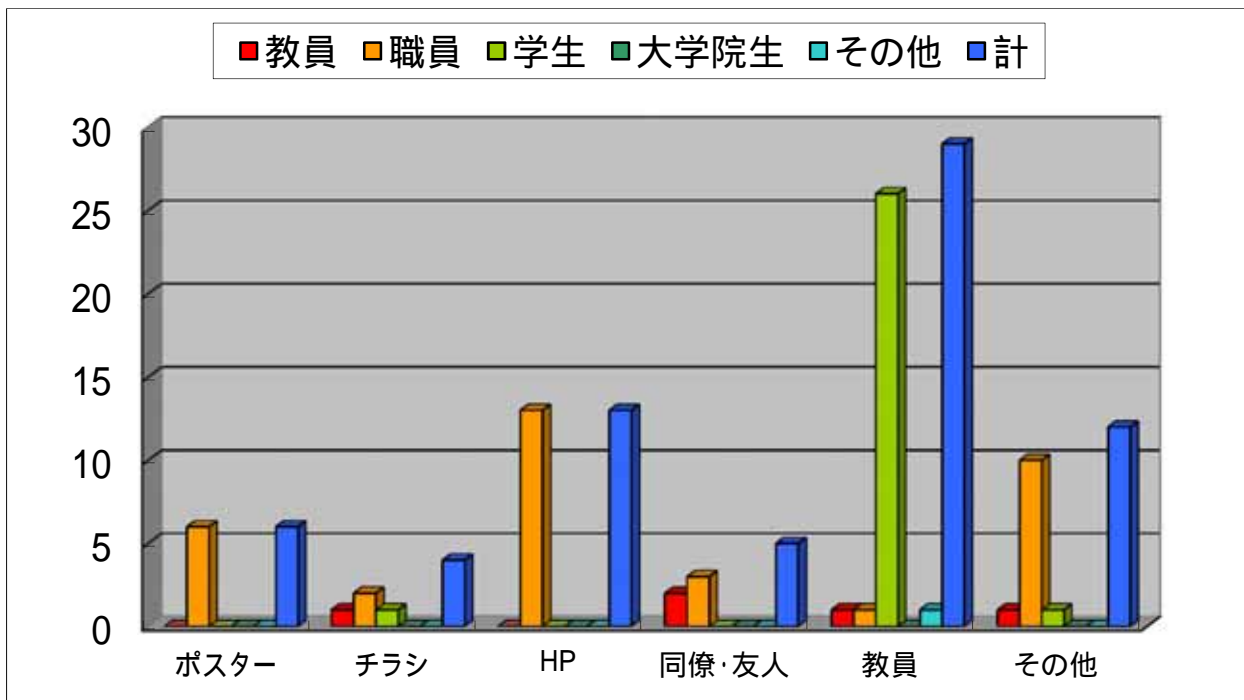
区分	所属	男	女	計
教員	経済学部	0名	1名	1名
	理工学研究科	0名	1名	1名
	その他	1名	0名	1名
	不明	2名	0名	2名
	小計	3名	2名	5名
職員	総務部	4名	2名	6名
	研究協力部	4名	0名	4名
	財務部	2名	2名	4名
	学務部	6名	1名	7名
	その他	0名	1名	1名
	不明	5名	4名	9名
	小計	21名	10名	31名
学生	教養学部	0名	1名	1名
	教育学部	3名	0名	3名
	経済学部	16名	8名	24名
	小計	19名	9名	28名
大学院生	小計	0名	0名	0名
その他	不明	0名	1名	1名
	小計	0名	1名	1名
合計		43名	22名	65名

5. 回答内訳

本日の講演会については、何でお知りになりましたか。

1. ポスター 2. チラシ 3. HP 4. 同僚・友人からの情報
5. 教員からの宣伝 6. その他

区分	ポスター	チラシ	HP	同僚・友人	教員	その他	その他内訳
教員	0名	1名	0名	2名	1名	1名	参画室員
職員	6名	2名	13名	3名	1名	10名	学内通知等
学生	0名	1名	0名	0名	26名	1名	部活
大学院生	0名	0名	0名	0名	0名	0名	
その他	0名	0名	0名	0名	1名	0名	
計	6名	4名	13名	5名	29名	12名	



本日の講演会についての感想をお願いします。

教員男性

具体的でとてもわかりやすい内容でした。特に、男性の側にも考えさせられる内容でした。ありがとうございました。
性暴力に関する話は非常に興味深かった。(具体例が分かりやすかった)セクハラ防止策についてもっと知りたかった。
「わかる力」はユニークで興味深い。

教員女性

具体的な話でとても勉強になりました。特に女性教員ですので、男子学生に男性の先生からお話し頂く機会は非常に貴重でした。ありがとうございました。
性教育は大切。を再認識しましたが、自分自身もきちんとした教育を学生時代に受けてきたとは言いがたいですし、友人同士でも真剣に話す機会が少なかったのですが、一教員として少しでも貢献できることを見つけて、行動していきます。

職員男性

非常に理解しやすい説明であった。学生にとっては、今まであまり考えない、でも現実には重要な問題を提起する内容だった。
実際事件が発覚した大学における対応等、事例を聞いて参考になった。大学職員として、個人として、両面から大変参考になり、考えさせられる内容でした。
ぜひ学生に向けて聴かせてあげたいと思います。
今までにない観点からの講演であり、「目からうろこ」の感があります。
知らなかったことが多く参考になった
とても重い問題だと再認識しました。セクハラについては、日頃、そんなに考えたことがなかったので、良い機会だったと思います。
学生のときはこういった形で性教育をうける機会がほとんどなかったので、貴重な体験ができた。
大変参考になりました。特に、公に公表されない内容などは、貴重です。
逆説的人生観に目を開かされた思いがしました。
全教職員学生が受講すべき内容であると考えます。受講者が少なすぎると思いました。講演の時間が60分では短すぎると感じました。
わかりやすくよかったです。
相談を受けることの難しさ、相談することの大変さを改めて考えさせられた。
具体的な内容はよく分かりました。
別れの大切さが...意味がある。参考になった。
認識を新たにできました。
話がなめらかで聞きやすい。

職員女性

性教育の普及、拡大の重要性を感じました。早期から正しく健全な性教育がなされる社会となることを望みます。
結婚して、子育ても終わっていますが、このようなお話を伺ったのは初めてでした。当たり前と考えていた恋愛がそうでない体験をする人が少なくないことを認識しました。若い人の相談を受ける時に、役立つお話をありがとうございました。
中学生や高校生に対しての性教育の重要性を改めて認識しました。一人一人が向き合って知識を共有し、理解していくことが大切だと思いました。
性教育の大事さがわかりました。(避妊、女性・男性も学ぶべき)学校での教育は先生が行うが、家庭での教育はどうすればよいか?親としては難しい。
多くの学生に対しての講演会として、再講演して頂くと良いかと思えます。このような知識があると、特に女性に対して後悔しないお付き合いができると思えます。大変勉強になりまして有難うございました。
素晴らしい講演を拝聴することができて良かったです。
男女平等が叫ばれて長いのに、まだまだ女性は弱いのでしょうか。自分でも性暴力に対して意識が低かったことに驚いています。あたりまえの幸せのはずなのに...

学生男性

とても自分の頭とか心の中にすんなり「落ちて」くるお話で、なんだか勇気づけられたというかすっきりしました。話し方とか言葉の選び方とか感想とか。これが「当たり前」の付き合い方を実現したいし、させたいと思いました。あと、性教育で人との関わり方を教え・学ぶことがとても大きな役割をはたすなあと思いました。とにかくおもしろかったです。

<p>“別れ”を改めて問い直すきっかけになりました。どうしても“別れ”は“悪いもの”“失敗”という先見があったと思います。別れる力の“別れを受け入れる力”は難しいことだとは思いますが、コレが常識にならないと暴力はなくなると感じました。</p>
<p>このお話がもっとみんなに広まってほしいと願います。自分も性教育やジェンダーを学んでいても、頭ではわかっている...と思う所もあります。知識がない人達、自信がない人たちも、このようなお話を聞けると、自信をもてるのではないのでしょうか。なかなか、まだ聞ける機会が少ない話ですが、とても必要、大切なことです。今日は本当にありがとうございました。</p>
<p>男女間の関係においてだけでなく、部内、その他でも、相互承認、自由意思の尊重等、軽くない(決して重いわけではない)人間関係の構築が大切だと思った。自分が尽くしていると思っていることが、必ずしも相手(組織)に有益とは限らないので主観的になりすぎないように注意しようと思う。(同様に相手もそうであるなら然るべき。)</p>
<p>男性に対する性教育の未熟さというものを確かに感じた。中、高校生の間は、性に関する情報を手に入れる方法はほとんどないため、独自かつゆがんだ情報を手にしてしまいがちである。これによって、この先どうして良いかわからないパターンが多く、暴力的行動に走ってしまうことになると感じた。だからこそ、しっかりと正しいことを教えていかなければいけない。それこそが、被害者を、家族を、そして加害者自身を救うことになると思えたことは目からウロコだった。</p>
<p>大学で起きた事件等をテレビで見かけると、予防対策がどう講じられるかがよく伝わってこなかった。参考資料のような全国集会提言があることを今日初めて知り、こういう取り組みがもっともっと世間に広がるべきだと思う。</p>
<p>話の最後にあった別れる力の話が印象的だった。単に人を好きになるだけではいけないのだと再認識させられた。</p>
<p>セクハラ の定義というか内容の広さに驚いた。普段の生活でも、軽い気持ちで言ったことがセクハラになり得ることを頭にいれておきたいと思った。このように思うということは、私(たち)はしっかりと性教育を受けてこなかったのだと感じた。男性側がされる束縛も「暴力」になるというのは目からうろこでした。</p>
<p>「別れ」に関する意識のお話にたいへん共感しました。私に別れる力、別れを受け入れる力がないからだと思います。己の行動を1から見直すと、問題視すべき行動、また問題となる考えがあることに気づかされました。</p>
<p>最近機会均等についてなどは考える機会があったが、「性」に関することについてはやはり恥ずかしいという思いがあり、真剣に向き合ったことがなかった。自分は男だが、女性の気持ちを軽んじた発言をバイト先の店長と一緒に言ってしまったこともあった(体型などについて)。性に関することであってもDVなどに関することであっても、自分はいつも自分の物差しで考えていた点を反省することができた。女性と交際していく上で、これからは様々なことについて恥ずかしがらずに相談し合っていこうと思うことができた。</p>
<p>自分はなぜ女性は嫌なことははっきり嫌だと言わないのだろうかとか心のどこかで思っていました。女性に対して理解が全く足りなかったのだろうと実感しました。特に、被害相談を誰にもしない理由で「自分さえ我慢すればいい」とか「言うのが恥ずかしい」というものは男性である自分にとってはあまり思いつかない所で、考えていかなければならないと感じました。別れる力と別れを受け入れる力が大切だという話は印象的でした。孤独や人との別れを受け入れる力は恋愛に限らず必要だと再認識しました。勉強になりました。</p>
<p>性暴力の誤解の所で、まだまだ偏見を持っている人は多いと感じる。関口先生は性教育の重要性をおっしゃっていましたが、まだその重要性を認識していない教師や大人が数多くいるのだろうと思う。改めて、性教育の重要性を認識し、性暴力について注視していく必要があると思った。</p>
<p>いつもの普通の講義では聞けないような、刺激的な内容の話が聞けてよかったです。過去の自分の体験など考え方はまちがっていませんでした。正しい判断ができたと思う。</p>
<p>“性ははずかしいもの”というイメージは確かにあると思いました。どのようにして、そのイメージをとりはらえられるか難しいなと感じました。</p>
<p>子どもが性に興味を持つのは仕方ないことだと思います。だから、大人が性について隠すのではなく、正しい方向へ導くべきだと思います。そのためには、小・中・高での指導も大切だとは思いますが、一番身近な「親」が指導することも大切だと思います。</p>
<p>本当にいろいろ考えさせられました。自分は相手に理解してもらえないと、それが本当につらくて、好きな人に理解してもらえないのが悔しくて、しばしば大声でどなってしまいます。それが自分のことしか考えられていないからやってしまう行為だとうっすらとわかりつつもやっけてしまいます。それで傷つくであろう相手の気持ちの方を優先して考えられるようになりたいと思います。</p>

普段自分が何気なく発する言葉や行動がデートDVになるとは思っていない人が世の中にはたくさんいると思った。自分自身もしてしまっていることが多々あり、このような講演会を聞くだけでも意識は変わると思うので、こういった教育を中学や高校からしていく必要があると思った。恋愛では相手を思いやる気持ちが必要だと思っていたが、別れる力を持つことが大事とおっしゃっていたので、新しい視点から考えることができた。

本日の関口さんの講演を聞いて、被害者は悩みの解消をするのが難しいのだと思い、相談するとなった時にはもうギリギリまで追いつめられている状態であるので、真剣に聞かなければならないと思った。だけど、被害者の思いを、そのような経験が自分がない場合、理解することも難しいのかもしれないと思った。

避妊をしないこともセクハラに含まれるし、暴力になるという言葉にはすごく納得しました。確かに、お互いに対等平等に合意納得をしなければ性的暴力になると思います。セックスを強制されたことに関して、「恥ずかしくて言えない」や「自分が我慢すれば良い」という回答が多かったことは予想外でした。やはり、知識不足という問題を解決しなければ、このようなジェンダー問題は解決されないのではないかと思います。すごく興味深い講演でした。

学生女性

本やネットなどで、性暴力やセクシュアル・ハラスメントに関する知識はある程度得ていたが、十分ではない事に気づいた。今回の講演会、分かりやすくお話されて非常に良かったと思います。

印象に残った先生の言葉で、デートDVの被害者の人から相談を受けたら、すごく大切に思ってください、という言葉です。サインを見落とさないこともすごく重要だと思いました。まず相談者を信じてあげなきゃいけないんだと思いました。性暴力への誤解にもあったように、「被害者に落ち度がある」と考える人は、男性のみならず、女性にもあると思いました。このような認識は明らかにまちがっているし、やっぱり性教育はしっかり整備していかなくてはならないと感じました。

DVは、実は思っていたよりも身近なところにたくさん存在しているということに気がついた。女性だけでなく、男性も被害者になるということをお忘れないように、自分の行動にも気をつけなければならぬと思った。また、周りの人の言動から状況を見ることで、被害者・加害者になっていないかなど、サインを見落とさないようにすることも大切だと思った。

本日、関口さんのお話を聞いて、はじめて知ったことが多くありました。「デートDV」という言葉自体、知りませんでした。その内容を知り、暴力は、自分たちのすぐ身近にあると感じました。また、最後の恋愛に必要な力として「別れる力」とおっしゃっていたのが印象的でした。

本やネットなどで、性暴力やセクシュアル・ハラスメントに関する知識はある程度得ていたが、十分ではない事に気づいた。今回の講演会、分かりやすくお話されて非常に良かったと思います。

話を聞いていて、中学時代に同じ学年の女の子が援助交際をしているという話をよく聞いたことを思い出した。彼女は、比較的経済的に貧しい子でお金かせぎのため、ということだったので、正直当時の私は軽蔑してしまっていたけれど、本当は彼女自身が嫌だと感じるなかで、ずっと続けたのではないかと、「性的自己決定権の侵害」を受けていたのではないかと考えた。もしかしたら同性の私にも誤った知識や考え方が植えつけられてしまっていたのかもしれない。このような意識を変えることが、本当に大切なのだと思った。

高校1年生女の子の話は、本当に悲惨な事で二度とあってはいけないうことだと痛感しました。女性は被害にあいやすい事実は昨今変わっていないので、講演で聞いたようにこれからの性教育は重要だと思います。被害にあった女性が相談しない理由として4割が「恥ずかしくて言えない」と挙げていることに私も同感なので、これまで恥ずかしいことだと認識させられる教育を自分自身も受けていたんだなと思いました。正しい知識と認識の教育を少しでも多くの人にこれから広める活動をしていって頂けたら嬉しいと思います。

デートDVは知っていたが、詳しく聞いたのは初めてだったので、とても為になった。特に性行為、避妊については改めて考える必要があると思った。私には恋人がいるけれど、たまにコンドームをつけてくれない時がある。自分でもダメって分かってるけど、いつも流れに任せてしまう。相手が性教育の知識がないというのも薄々感付いているので、今度二人で今日学んだことについて話してみようと思った。

デートDVだけでなく恋愛についても学ぶことができてよかったです。なかなか聞けないお話だったので、非常に考えさせられました。「別れる力」が恋愛において一番重要だというお話がとても印象に残りました。がんばります。一人になってもさびしくならないように精神きたえます。

その他

大変重い課題について、具体的事例やデータを踏まえた理解しやすい講演だったと思います。「別れる力」のお話、大事な力だと共感しました。

男女共同参画室への要望、今後取り組むべきだと思う内容について、次の中からお選びください。
(複数回答)

1. 男女の機会均等の実現
2. 男女共同参画の視点に立った、制度・慣行の見直し、意識改革の推進
3. 就労・就学と家庭生活との両立支援
4. 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
5. 男女共同参画を推進する教育・研究の充実
6. 男女共同参画の視点からの学内の実態調査・分析及び情報の提供
7. 苦情申し立て、救済システムの整備
8. その他、要望がありましたらご自由にお書き下さい。

区分	機会均等	意識改革等	両立支援	女性の参画拡大	教育・研究推進	実態調査	救済システム整備	その他
教員男性	0名 (0.00%)	1名 (33.33%)	1名 (33.33%)	0名 (0.00%)	1名 (33.33%)	1名 (33.33%)	0名 (0.00%)	0名 (0.00%)
教員女性	1名 (50.00%)	1名 (50.00%)	1名 (50.00%)	0名 (0.00%)	2名 (100.00%)	1名 (50.00%)	0名 (0.00%)	0名 (0.00%)
職員男性	2名 (9.52%)	6名 (28.57%)	5名 (23.81%)	2名 (9.52%)	4名 (19.05%)	3名 (14.29%)	6名 (28.57%)	0名 (0.00%)
職員女性	1名 (10.00%)	2名 (20.00%)	3名 (30.00%)	0名 (0.00%)	0名 (0.00%)	1名 (10.00%)	1名 (10.00%)	0名 (0.00%)
学生男性	4名 (21.05%)	5名 (26.32%)	7名 (36.84%)	4名 (21.05%)	6名 (31.58%)	6名 (31.58%)	7名 (36.84%)	2名 (10.53%)
学生女性	1名 (11.11%)	3名 (33.33%)	3名 (33.33%)	1名 (11.11%)	4名 (44.44%)	1名 (11.11%)	2名 (22.22%)	0名 (0.00%)
その他女性	0名 (0.00%)	0名 (0.00%)	0名 (0.00%)	1名 (100.00%)	0名 (0.00%)	1名 (100.00%)	0名 (0.00%)	0名 (0.00%)
男性小計	6名 (13.95%)	12名 (27.91%)	13名 (30.23%)	6名 (13.95%)	11名 (25.58%)	10名 (23.26%)	13名 (30.23%)	2名 (4.65%)
女性小計	3名 (13.64%)	6名 (27.27%)	7名 (31.82%)	2名 (9.09%)	6名 (27.27%)	4名 (18.18%)	3名 (13.64%)	0名 (0.00%)
計	9名 (13.85%)	18名 (27.69%)	20名 (30.77%)	8名 (12.31%)	17名 (26.15%)	14名 (21.54%)	16名 (24.62%)	2名 (3.08%)

その他

職員男性

かたよりのない(ジェンダーを意識しすぎない)本学における本当の意見の男女共同参画について考えて欲しい。

今回のような講演のPDF等があれば良いと思います。(事前資料として等)

学生男性

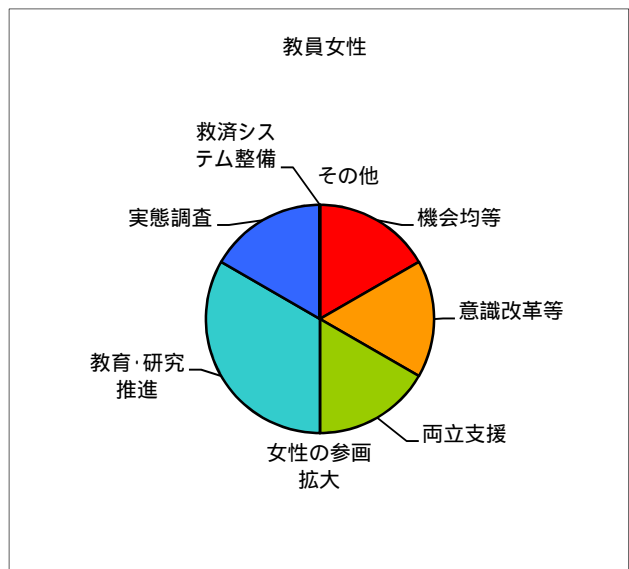
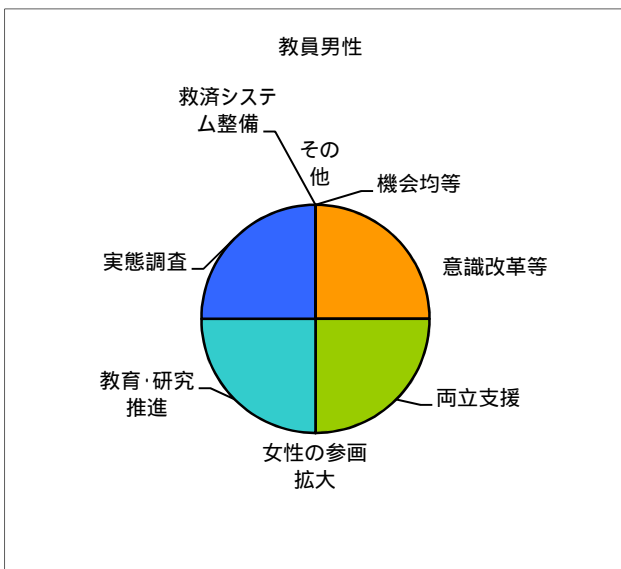
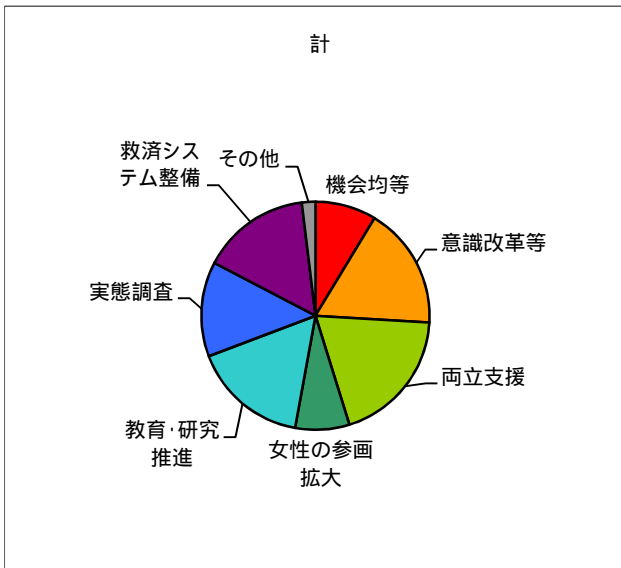
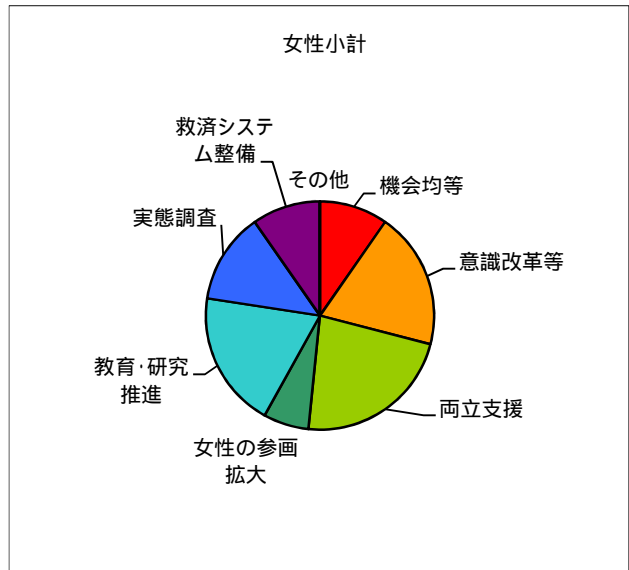
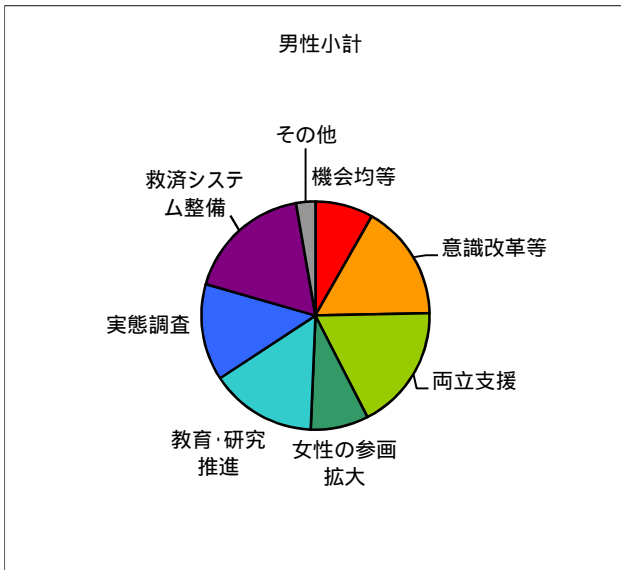
流行らせる工夫と努力

もっとこのような機会をもうけてほしい。

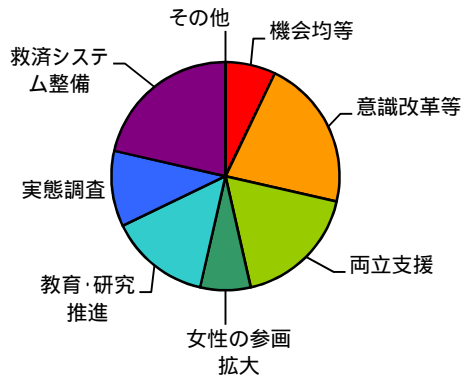
大学における“男女参画”って具体的になに?という疑問はあります。

学生女性

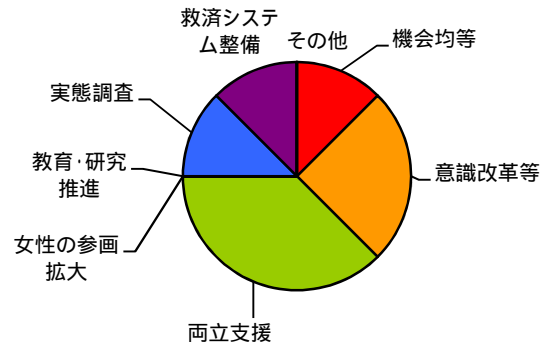
今日のような講演会の機会をもっともちいて多くの人に知ってもらうことが必要だと思いました。



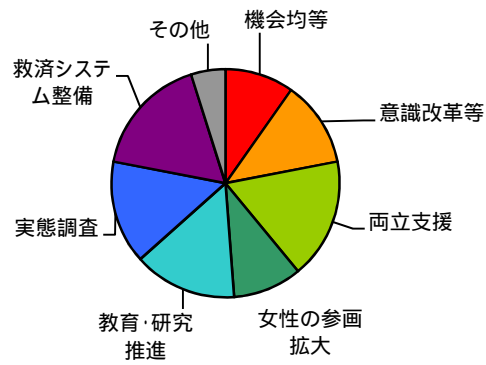
職員男性



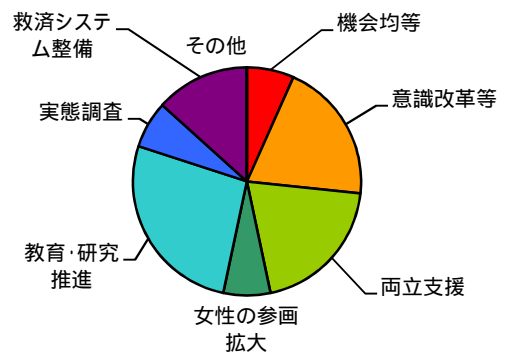
職員女性



学生男性



学生女性



埼玉大学男女共同参画室講演会 参加者アンケート

本講演会へのご参加、ありがとうございます。今後の企画・運営の参考にさせていただきますので、アンケートへのご協力をお願い致します。

所 属：当てはまるものにつけ、()内に具体的な所属をお書きください。

1. 教 員 ()
2. 職 員 ()
3. 学 生 (学部 学科)
4. 大学院生 (研究科 専攻)
5. その他 ()

性 別： 1. 男性 2. 女性 3. その他

本日の講演会については、何でお知りになりましたか。

1. ポスター 2. チラシ 3. H P 4. 同僚・友人からの情報
5. 教員からの宣伝 6. その他 ()

本日の講演会についての感想をお願いします。

男女共同参画室への要望、今後取り組むべきだと思う内容について、次の中からお選び下さい。

(複数回答)

1. 男女の機会均等の実現
2. 男女共同参画の視点に立った、制度・慣行の見直し、意識改革の推進
3. 就労・就学と家庭生活との両立支援
4. 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
5. 男女共同参画を推進する教育・研究の充実
6. 男女共同参画の視点からの学内の実態調査・分析及び情報の提供
7. 苦情申し立て、救済システムの整備
8. その他、要望がありましたらご自由にお書き下さい。

ご協力、ありがとうございました！

(提出をお忘れの際は、ファックスでも受付します。Fax:048-858-3678)